

**国際公務労連保健サービス作業部会会議
ジュネーブ、ILOビル第4会議室**

2011年2月14日(月)		
時間	セッション	演壇
10:00 ー 10:30	開会 ● 歓迎のあいさつ ● 参加者の紹介 ● 会議と手配事項の確認	議長: サリ・コイヴニエミ プレゼンテーション: オディル・フランク、三井暢子
10:30 ー 11:00	公共部門の資金調達と質の高い公共サービスの達成 公共サービスが多方面で削減されているが、官民両部門の労働組合、自治体、市民社会団体のリーダーらが、2010年10月12~14日にジュネーブに集まり、グローバルユニオン評議会の会議「質の高い公共サービス — 今こそアクション！」を開催した。参加者は、経済危機の主な解決策、および平和で公正、持続可能な社会を築く方法として、質の高い公共サービスに共に投資を促すことを約束した。PSIは、質の高い公共サービス(QPS)を達成するには、十分な公的資金と公正な税制が必要であることを確認した。QPS会議では、「質の高い公共サービスのためのジュネーブ憲章」が採択され、また、憲章を実施するためのグローバルユニオンの共同アクションを定義する「行動計画」の概要がまとめられた。 キーパーソン: ロルフ・ハンセン (Rolv Hanssen rolv.hanssen@world-psi.org +33 450 40 11 60) http://www.qpsconference.org/	議長: テレサ・マーシャル プレゼンテーション: ピーター・ウォルドルフ 書記長
11:00 – 11:30	休憩	
11:30 ー 12:30	ヘルスケア、ソーシャルケアにおける移民労働者 「国際移住とヘルスケア・ソーシャルケアワーカーの移住」に関する PSI の 3 か年プロジェクト (2010~2012年)は、アドボカシー活動、対話、研究、広報活動、能力養成、組織化を通じて、公共部門労働組合が移住の原因ならびに、それが公共サービスと労働者の権利に及ぼす影響に取り組む能力を強化することを目的とする。計画策定会議は3つの試験国で行われる(2011年9月にケニア、2011年10月に南アフリカ、2011年11月にガーナ)。プロジェクトでは、ヘルスケア・ソーシャルケア部門の机上レビューおよびマッピングと併せて参加型リサーチが実施される。この結果は、PSI が経済危機、人口動態変化、不安定雇用の拡大という背景で移住が呈する新たな問題に対処するための労働組合ツールを考案するのに役立つ。 目的: HSTF 参加者はリサーチについて学ぶこと、加盟組合は参加することが求められる キーパーソン: ジュヌヴィエーヴ・ジェンシアノス (Genevieve Gencianos (Genevieve.Gencianos@world-psi.org +33 450 40 12 14))	議長: ヘレン・デーヴィスーホワイト プレゼンテーション: ジュヌヴィエーヴ・ジェンシアノス、ジェーン・ピリンジャー
12:30 – 14:00	昼食	
14:00 ー 15:30	保健サービスの民営化 保健サービスの民営化による費用便益の評価と効率の変化は、費用便益の測定およびサービス効率の評価方法という問題を生む。ヘルスケアの提供は患者が受けるサービスだけでなく、患者が受けるケアの質にも依存する。ヘルスケアの提供は労働集約型の活動であり、その質は労働者のコンディションに大きく左右される。 PSIRU が保健部門に焦点を当てて行った証拠に基づく分析では、1) 民間部門が公共サービスを管理すると、消費者が支払うサービス費用が高くなる、そして、2) 競争と利益の導入は、調達と提供における腐敗を拡大する、という2点の主張を吟味する。 目的: 加盟組合が直面する民営化について、もっとも重要で急を要する問題に関して HSTF 参加者の意向を調査する キーパーソン: ジェーン・レスブリッジ (Jane Lethbridge j.lethbridge@gre.ac.uk +44 208 331 7781)	議長: カンディス・オーリー プレゼンテーション: ジェーン・レスブリッジ グループ1 議長: ピンダ・ボウェシジャウ・アコワ 報告者: ミシェル・ボウクレア グループ2 議長: ジェニファー・ホワイトサイド 報告者: マーガレット・ステフェン グループ3 議長: ミランガ・イレーネ・ノンサンサ 報告者: カレン・ヒギンス
15:30 – 16:00	休憩	
16:00 ー 17:00	1日目のまとめと結論	議長: アユバ・フィリプス・ワバ パネル: サリ・コイヴニエミ、ヘレン・デーヴィスーホワイト、カンディス・オーリー
19:00	Les Halles de L'île にて夕食	

2011年2月15日(火)		
9:00 ー 10:30	職場における暴力 PSIはこの問題に引き続き大きく注目していく。ILO、ICN、WHOと共に、PSIは2001年、保健部門における職場の暴力に関する共同プログラムを設置した。2005～2005年には8つのケーススタディを行い、枠組みガイドラインおよび補足的な訓練マニュアルを作成した。保健部門における暴力はそれ以来、2つの国際会議でも取り上げられ、2012年10月24～26日には、カナダのバンクーバーで「保健部門における暴力に関する第3回国際会議」が予定されている。暴力には心理的暴力(暴言:怒鳴る、ののしる、侮辱する、脅す、いじめ、いやがらせ)から、殺人を含む身体的暴力(暴行:唾を吐く、手による攻撃、物品、武器、動物の使用)まで一連の行為が含まれる。加害者には、保健サービスに従事する労働者、患者、患者の家族、市民が挙げられ、被害者は保健サービスに従事する労働者や患者である。節約と効率を拡大するための削減により、待ち時間が延び、ヘルスワーカーの労働量が増える。これによりヘルスワーカーと患者、その家族のストレスが増す。 目的: 監督の必要性、および可能な基準の策定(ガイドライン、綱領、認定・資格、監査)に取り組むためのワークプランを策定する 国際会議のキーパーソンのみ: ニコ・ウード(Nico Oud www.oudconsultancy.nl) + 31 20 409 0368)	議長: ジュディス・キエジャ プレゼンテーション: ヤミニ・アドベ、ビクラマンドゥス・ビーソン、イワンカ・ブレレンコワ、スティヴェニ・トウヴオ、スラワ・ザラントノワ グループ1 議長: サミア・レタイフ・ポスラマ 報告者: マリア・アパレンダ・ゴドワ・デ・ファリア グループ2 議長: キム・オスト・ヤコブセン 報告者: デビース・シアン グループ3 議長: ロスニ・ブツェ・アジス 報告者: マイケル・ライティー
10:30 – 11:00	休憩	
11:00 ー 12:30	労働安全衛生基準の保護と強化 ILO基準、WHO決議およびガイドライン、国連決議、国連特別機関の共同ガイドライン(WHO、ILO、UNAIDSなど)といった国際基準は、すべての労働者およびヘルスワーカーを保護するものであり、PSIはこれらの基準の適用とグッドプラクティスの周知および奨励に役割を果たしていく。PSIはヘルスワーカーの健全な維持に努め、1)血液感染性の病気に対する普遍的予防措置およびB型肝炎ワクチン、2)とくに格納式注射器など安全に製造された注射器具の使用、3)ヘルスワーカーを守るために、HIVなどの暴露後予防が得られるかどうか、およびその活用について、プロモーション用のビデオを作成している。PSIはまた、職場の危険をなくし、職場の暴力(先の議題項目参照)を予防および管理することにより、すべての医療現場を健全に保つよう努力している。 グローバルユニオン・フェデレーションは、共に、労働者の労働安全衛生の問題に広く取り組むことができる。 目的: 以下を保護する必要性に応えるためのワークプランを作成する: a) グローバルユニオン・フェデレーションと共に取り組むことにより、労働者の健康と安全を守る b) 危険と劣悪な慣行に関してヘルスワーカーの意向を調査することにより、ヘルスワーカーの健康と安全を保護する キーパーソン: オディル・フランク(Odile Frank odile.frank@psi-world.org) +33 450 40 11 50)	議長: イワン・アンゲロフ・ココロフ プレゼンテーション: オディル・フランク 針刺し事故の予防に関するビデオ
12:30 – 14:00	昼食	
14:00 ー 15:30	保健サービスにおける不安定労働 不安定労働は、その影響を受ける部門とグループによって様相が異なる。派遣企業による契約、期限付きの契約、臨時契約の拡大、および外注、外部委託、民営化の拡大により、労働者の権利の源である使用者、または労使関係の特定がますます困難になっている。公共サービス全体で人間らしい雇用の保証が損なわれているということはつまり、女性、若手労働者、移民労働者には最悪の影響が及んでいることでもある。不安定労働は所得を減らし、労働組合権と労働権を奪う。使用者は年金基金に寄与せず、労働安全衛生などの問題は無視され、労働者は怪我や労働災害による失業を恐れるようになる。こうした状況では交渉チームが縮小し、組織力、および労働組合の密度が弱まる。つまり団体交渉権がなくなり、差別、嫌がらせ、暴力が増加する。 目的: 不安定なヘルスワーカーに労働安全衛生を維持し、組織化の方法をさぐる キーパーソン: チディ・キング(Chidi King chidi.king@world-psi.org) +33 450 40 11 70)	議長: アショカ・アベナヤカ プレゼンテーション: チディ・キング グループ1 議長: 鈴木崇文 報告者: マリヴォンヌ・ニコール グループ2 議長: ヘレン・デーヴィス・ホワイト 報告者: タルジャ・ホンカランピ グループ3 議長: エリザベス・アダムス 報告者: ポーリン・ウオスフォルド
15:30 – 16:00	休憩	
16:00 ー 17:00	2日目のまとめと結論	議長: ロドリゴ・ロペス・ガルシア パネル: ジュディス・キエジャ、イワン・アンゲロフ・カカロフ、アショカ・アベナヤカ
17:00 ー 19:00	看護師の問題に関する会議の議題を作成するための会議	議長: ジュディス・キエジャ